



●ニュース検定を受けませんか

ニュース時事能力検定試験(マークシート方式)を、11月20日(日)に全国37都市の公開会場で実施します。小学校の社会科での学びを生かせる5級から最も難しい1級まで、全ての級を行います。公式サイト(<https://www.newskentei.jp/>)で8月22日(月)正午から10月6日(木)までお申し込みいただけます。お問い合わせは03-5209-0553(平日10~17時)

出題: 日本ニュース時事能力検定協会

4級 主に小学生以上が対象

1問

日本と【 】が国交を正常化してから、9月で50年がたちます。人口が世界で最も多い【 】は、日本にとって最大の貿易相手国で、アメリカに次ぐ世界第2の経済大国でもあります。【 】(2カ所)に当てはまる国名を①~④から一つ選びなさい。

- ① インド
- ② フランス
- ③ 中国
- ④ ロシア

解答欄

2問

地球環境を巡って近年、「温暖化」という言葉だけでは説明しきれない異常気象(台風の巨大化、ゲリラ豪雨など)が相次いでいるため、「【 】」という言葉も使われています。【 】に当てはまる言葉を、①~④から一つ選びなさい。

- ① 地盤沈下
- ② 気候変動
- ③ 森林破壊
- ④ 水質汚濁

解答欄



2020年7月の記録的な豪雨では、熊本県人吉市の球磨川が氾濫し大きな被害が出た

3問

最近の日本人の平均寿命について、正しい説明を①~④から一つ選びなさい。

- ① 女性の平均寿命のほうが男性よりも長い。
- ② 男女とも平均寿命は年々短くなっている。
- ③ 男女とも平均寿命は95歳を超えた。
- ④ 男女とも平均寿命は毎年、世界一だ。

ヒント

毎年発表される平均寿命とは、その年に生まれた0歳児が平均して何年生きられるかを推測した数値です。

解答欄



平均寿命に対して、日常生活が元気に送れる期間を「健康寿命」というよ。9~12年、健康寿命のほうが短いんだ

4問

9月1日は防災の日です。日本で今後起きると予想される地震や、防災の取り組みについて、正しい説明を①~④から一つ選びなさい。

- ① 今後、巨大地震が起これると考えられている「南海トラフ」とは、沖縄諸島に沿った太平洋の海底の溝のことだ。
- ② 「自然現象による災害を最小限にとどめるため、事前に災害に備えておこう」という考え方を「減災」という。
- ③ 21世紀中に首都圏で大地震が起これる確率は、0%に近いとされている。
- ④ 自然災害が起きそうな場所や避難ルートを示したものを「ロードマップ」という。



小学校の防災訓練で、机の下に潜り込む子どもたち

解答欄

5問

国外からの輸入品に高い関税をかけ、自国の産業を守ろうとすることを「【 】貿易」といいます。【 】に当てはまる言葉を、①~④から一つ選びなさい。

- ① 朝貢
- ② 加工
- ③ 保護
- ④ 自由

解答欄

6問

世界にある推計約1万3000発の核弾頭の大半は、【 】の2カ国が持っていると考えられます。【 】に当てはまる2カ国を、①~④から一つ選びなさい。

- ① アメリカと中国
- ② ロシアと中国
- ③ アメリカとフランス
- ④ ロシアとアメリカ

ヒント

冷戦時代は世界に約7万発あったとされますが、この2カ国が削減に取り組んできました。

解答欄

【正解と解説】
問1 ③ = 日本と中国は1972年9月、戦争状態の終了を確認する日中共同声明に調印し、国交を正常化しました。政治での摩擦はありますが、経済を中心に結びつきを深めてきました。
問2 ② = 海外では「気候変動」のほうがよく使われます。温室効果ガスの排出量の増加などが原因で引き起こされます。
問3 ① = 2020年の平均寿命は女性が87.74歳(世界1位)、男性が81.64歳(世界2位)で、ともに過去最高を更新しました。女性が世界1位になったのは6年ぶりです。
問4 ② = 東海沖から九州沖にかけて太平洋の海底にある溝の粗ざれていきます。④「ハザードマップ」といいます。
問5 ⑤ = 関税を上げると貿易が滞り、国々の対立や世界的な不況を引きかねません。このため第二次世界大戦後の世界は、保護貿易とは逆の「自由貿易」を進める方向で歩んできました。
問6 ④ = スウェーデンの研究機関の2022年1月時点の推計によると、核弾頭の保有数は1位がロシア(5977発)、2位がアメリカ(5428発)。近年は「真」から「偽」への転換が進んでいます。